



(公財)ふるさと島根定住財団

(しまね県民活動支援センター)

<http://www.teiju.or.jp/>

2016

4月号

平成28年度第1回 **助成金**制度

★ 合同説明会を開催します！

大田 4 / 6 (水) 13:30~16:00

男女共同参画センターあすてらす3階研修室
(大田市大田町大田イ236-4)

益田 4 / 12 (火)

島根県益田合同庁舎 大会議室
(益田市昭和町13-1)

浜田 4 / 13 (水)

石見産業支援センターいわみぶらっと 会議室
(浜田市相生町1391-8)

松江 4 / 15 (金)

くにびきメッセ 501大会議室
(松江市学園南1丁目2-1)

出雲 4 / 18 (月)

島根県出雲合同庁舎 703会議室
(出雲市大津町1139)

隠岐 4 / 21 (木)

島根県隠岐支庁島前集合庁舎会議室
(西ノ島町別府字飯田56-17)

Point!

- 参加申込不要
- 参加費無料
- 個別相談可

自分たちの住んでいる地域を良くしたい。こんな事業をやってみたい。そんな想いを叶えませんか？
島根県内の6つの助成団体を一度にまとめて聞いて比較できます。
個別相談会も同時開催！
当日**先着順**で受け付けます。

【スケジュール予定】
13:30~13:40 (10分) 開会あいさつ
13:40~14:25 (45分) 各助成金制度の説明
14:25~14:30 (5分) 「しまね社会貢献基金」(島根県)の説明
14:30~14:40 (10分) 各融資制度の説明
(中国ろうきん、日本政策金融公庫)
~ 休憩 (15分) ~
14:55~16:00 (65分) **個別相談会**(各団体1回10分程度)

今年の参加助成団体は右記の6団体です。
事前参加申込みは不要です。
この説明会を通じて、後日各団体との個別相談も可能です。
説明会全般についてはふるさと島根定住財団(電話0852-28-0690)にお問い合わせください。

助成団体	助成金
公益財団法人 ふるさと島根定住財団	地域づくり応援助成
公益財団法人 しまね自然と環境財団	しまね環境保全活動助成金
公益財団法人 しまね国際センター	世界とつながる島根づくり助成金
公益財団法人 しまね文化振興財団	公益信託しまね文化ファンド
公益財団法人 しまね女性センター	公益信託しまね女性ファンド
社会福祉法人 島根県共同募金会	赤い羽根共同募金助成 NHK 歳末たすけあい助成

※スケジュール等は予定です。当日、説明団体数の変更などで、時間が前後する場合があります。

助成金情報

みずほ教育福祉財団
第 33 回老後を豊かにするボラン
ティア活動資金助成事業
期 ~5/31(火)必着

対 地域において、高齢者を主な対象として活動している比較的小規模なボランティアグループで、次の要件を満たすもの。

必要条件

- ① 登録ボランティア数：10～50人程度
- ② グループ結成以来の活動実績：2年以上
- ③ 本助成を過去3年以内（平成25年度以降）に受けていないこと
- ④ グループ名義の金融機関口座を保有し、規則（会則）、会計報告書類が整備されていること

※以下のグループは対象外です。

- ① 法人格を有する団体（特定非営利活動法人など）及びその内部機関
- ② 地域の老人クラブ連合会に加盟しているグループ及び老人クラブ内の活動グループ

助成対象の活動内容

高齢者を対象とした生活支援サービス、高齢者と他世代との交流を図る活動、高齢者による地域環境の改善につながる活動、レクリエーションを通じて高齢者の生活を豊かにする活動。

金 1グループにつき10万円を上限に、希望金額を踏まえ選考委員会にて助成金額を決定。助成は計120グループ程度を予定。

問 みずほ教育福祉財団 福祉事業部

Tel: 03-3596-4532 Fax: 03-3596-3574

E-mail: FJP36105@nifty.com <http://www.mizuho-ewf.or.jp/>

公益財団法人ヨネックススポーツ
振興財団 平成 28 年度助成金
(後期募集)

期 ~6/30(木)当日消印有効

対 青少年スポーツ振興を主たる目的とする公益社団法人、公益財団法人、一般社団法人または一般財団法人で活動を3年以上継続して実施している団体。

上記以外の団体であって以下の要件を備える団体（特定非営利活動法人等）

- ① 定款、寄附行為に類する規約等を有すること
- ② 団体の意志を決定し、執行する組織が確立していること
- ③ 自ら経理し監査する等、会計組織を有していること
- ④ 団体活動の本拠としての事務所を有すること

対象事業費例

会場設営費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、スポーツ用具費等

金 指定の期間に予定する一つの事業予算の2分の1（上限100万円）以内。但し、同一事業の場合は前後期で分けて申請されても、年間で上限100万円。

問 (公財) ヨネックススポーツ振興財団 事務局

Tel: 03-3839-7195 Fax: 03-3839-7196

E-mail: zaidan@yonex.co.jp

<http://www.yonexsports-f.or.jp/joseikin.html>

イベント情報

第 27 回ガイダンス山代の郷ロビ
一展「ふるさとの民具～創意工夫
の農具～」

日 ~4/11(月)9:00～16:30
火曜日休館(祝日の場合翌日休館)

人々は生活の中で農具を使いやすいように改良を加えながら作ってきました。創意工夫が凝らされた懐かしい農具で昔の暮らしに触れることができる展示です。

場 ガイダンス山代の郷（松江市山代町 470-1）

費 入館料無料

主問 島根県立ハ雲立つ風土記の丘

Tel: 0852-23-2485

Fax: 0852-23-2429

隠岐国分寺蓮華会舞

日 4/21(木)12:00～16:00

隠岐国分寺に平安時代から伝わる舞楽。重要無形民俗文化財に指定されており、現在は7種の舞が伝承されています。2007年に火災で本堂が全焼し道具や衣装が焼失しましたが、隠岐国分寺蓮華会舞保存会が中心となって復元し、舞を復活させました。

場 隠岐国分寺（隠岐郡隠岐の島町池田風呂前5番）

問 (一社) 隠岐の島町観光協会

Tel: 08512-2-0787

「資金を育てる計画づくり講座 ～ファンドレイジングの基盤をつくる～」

2月22日、23日の両日、
松江市、浜田市において、
ガバナンスセミナー「資金を育
てる計画づくり講座～ファンド
レイジングの基盤をつくる～」
を開催しました。



講師は、(株)PubliCo 代表取締役
COO で、NPO 法人日本ファンドレイジング協会理事兼
認定ファンドレイザーの山元圭太氏をお迎えしました。

まずファンドレイジングの計画の立て方について5W1H
に沿った理論に基づいた説明をいただきました。団体の
ミッションを出し合っても、一致する団体は意外と少ない
ということから、改めてゴール地点を明確にし、ミッション
を共有することの重要性なども示されました。後半は参加
者の活動状況を聞きながら山元講師から具体的なアド
バイスを受けました。受講者の満足度は120点と答えられる
方もいるほど両会場共に非常に満足度の高い内容でしたが、
もっと多くの方、特にこれから設立を考案されている方
にも意識づけとして聴講いただきたいものでした。

☆☆参加者の声☆☆

- ・ファンドレイジングと一口に言っても、単にお金を集めるこ
とではなく、組織のビジョンの明確化や定めるべき目標の順
番など、組織運営全体に関わるお話が聞けてとても良かった
と思います。
- ・ファンドレイジング→フレンドレイジング!!
大変良い表現でした。



しまね田舎ツーリズム



キャンペーン2015報告&交流会開催!

10・11月に県内各地で開催した「しまね田舎ツーリ
ズムキャンペーン2015」を振り返る報告会&交流会が、2
月11日に県立大学浜田キャンパスでありました。

実践者や行政担当者ら88人が出席。アンケート結果や
事例の報告を行いながら、キャンペーンを総括しました。

131本の体験プログラムを用意した今年度のキャンペ
ーンでは、昨年度を上回る2025人の方に県内外から参加
いただきました。島根の自然や文化、食などをめぐる多彩
な体験プログラムを楽しんでいただき、平均満足度も100
点満点中94.3点と、非常に高い結果となりました。



しまね田舎ツーリズム 親子体験キャンペーン

3月19日～31日 実施します!

しまね田舎ツーリズムでは、親子体験に特化したキャン
ペーンを、3月19日から31日にかけて、益田市、津和野
町、吉賀町エリアで開催します。親子連れの皆さんに楽し
んでいただける自然体験や食の体験等16プログラムを用
意して、皆さんをお待ちしています!

詳細は、しまね田舎ツーリズムポータルサイト
(<http://www.oideyo-shimane.jp>)をご覧ください。
予約受付は、キャンペーン事務局予約受付係 まで
(TEL0855-52-7029/10時～17時)

NPO 虎の巻

Vol.11

今月のキーワード 「事業報告書②」

今回は、県内のNPO法人が実
際に行っている事業報告書作成
の工夫についてご紹介します。

市民に伝える工夫

(NPO法人日本エコビレッジ研究会)

NPO法人として活動している以上、市民に情報を公開
し、見てもらう責任があります。「言うべきことを言い、
やるべきことをきちんとやる!」ということを基本姿勢と
して、事業報告書ではきちんと皆さんにお伝えすることを
大切にしています。所轄庁へ提出する報告書のほか、写真
や文章で簡潔に伝える報告書を作成し、活動のPRや情報
発信をしています。また、その作成したものを総会資料と
して提示するほか、ホームページに掲載し、一般に見るこ
とができるようにしています。より市民にNPOの取組が
分かるよう、工夫することが大切です。

*NPO法人日本エコビレッジ研究会の事業報告書は
こちらから →<http://www.ecov.jp/index.html>

事業報告書を変えることが、事業や組織の成長に…

(認定NPO法人あしびえ)

ある人の「この報告書はつまらん」のひと言から報告書
を見直すことに…。NPOは、社会課題を見据えてそれに対し
てどう対処して、どう変えていくのかを市民に伝えなければ
なりません。事業報告書は、それを伝える最良のもの。演劇
が社会にどう役に立つのか、言語化・文字化していくことは
大変な作業でした。しかし、そこをやらなければ人には伝わ
らないのです。何度も報告書を作り直し、社会の現状と対策、
市民のニーズ、利用者の声など、より伝わるようにするには
どうしたらいいかを考え工夫しました。報告書を作り直した
結果5つの事が変わりました。

- ①活動への理解、信用が高まった。
- ②支援が継続してきた。
- ③振り返り会の重要性を、スタッフやサポート会のメンバ
ーが理解し、振り返ることが日常化した。またそのことで次
の企画立案が楽になった。
- ④普段の活動の報告をフォーマット化し、事業が終わり次第
振り返りを行うなど、日常の業務の見直しにつながった。
- ⑤助成金の申請書作成時や各種アンケートに答える際など、
実績データの要望にもすぐに対応できるようになった。

*認定NPO法人あしびえの事業報告書はこちらから

→ http://www.yitf.org/?page_id=728

事業報告書は事業年度終了後3カ月以内に所轄庁に提出し
なければなりません。忘れずに提出しましょう!

NPO虎の巻はこちらからダウンロードできます。
県民活動応援サイト 島根いきいき広場
<https://www.shimane-ikiiki.jp/>

『島根で頑張る人』は県内で活動する人にスポットを当て、考え方や経験から団体活動に迫るコーナーです。
スタッフの「学び」も兼ねて取材させていただいています。

島根で 頑張る人

思いやりある子どもを地域で育む

「幼少期の心の教育が大事」と訴えるNPO法人ちやいるどりーむ(江津市子育てサポートセンター)の理事長、佐々木 幸恵さん。子どもの頃は近所の子供たちの面倒を見る環境にあったことから保育士を目指し、今でも現役で子育てをサポートするエキスパートだ。

少子化や核家族化といった児童を取り巻く環境は、お互いの悩みを共有できる相手が少なく、コミュニケーションを育む機会が少ない上、家庭内だけでの子育てが昔と比べ困難な時代とも言える。

佐々木さんは、これを補完する家庭の枠を超えた仕組み作りの重要性を説く。手掛けているのは、子育て世代対象の講座や相談窓口、小学生対象に生後4か月前後の赤ちゃんとの接し方などを学ぶ「赤ちゃん登校日」だ。

赤ちゃん登校日の対象は、物の分別もつくようになり赤ちゃんと接するのにも安心な年齢である小学5年生に設定されている。「この年頃は家族と面と向かった対話を拒む思春期に差し掛かる」と佐々木さんは言う。

児童は全4回の赤ちゃん登校日の体験後、赤ちゃん登校日を参観に来た親と共通の話題ができることもあり、家族との対話が自然に増えたほか、学校でも下級生を思いやり積極的に面倒を見る姿や、授業中でも落ち着きが見られるようになるなど、顕著な変化が表れてきたという。

赤ちゃんに触れ合うことで、自分自身も親に大事に育ててもらったことを認識し、命の大切さが芽生え、人に対する思いやりの心を育むことができるようだ。

赤ちゃん登校日は県内外からの視察が相次ぎ、現在では出雲市でも行われている。佐々木さんはこうした機会の必要性が今後より高まると見通し、江津市の社会情勢に合わせたサポートをするべく、地元警察や民生委員などとも連携を強化。「心の優しい子どもが育つ良い環境を地域ぐるみで作り出すことが大切」と力を込める。(T)



NPO 法人ちやいるどりーむ

理事長 佐々木 幸恵さん

浜田市出身。結婚を機に江津市へ移住。保育士を経て江津市子育て支援課主査。退職後、江津市直営の江津市子育てサポートセンターをH24年2月にNPO法人化。現在は市の委託で公設民営で運営。

主な活動内容

子育て相談に応じたり、子育ての手伝いや手伝いをして欲しい人たちが会員となるファミリーサポート制度(有料)、子育て世代対象の講座などを開催。

※赤ちゃん登校日は、鳥取大学医学部の高塚助教授が“人間関係の構築力を学ぶため”に考案

～次回赤ちゃん登校日～

予約なしで参観可能です♪

日程:5/17(火)、18(水)、
6/10(金)、7/8(金)

場所:江津市立江津東小学校体育館
お問い合わせ:

NPO 法人ちやいるどりーむ
TEL・FAX/0855-52-0569



赤ちゃん登校日の様子



子育て中のお母さんが匿名で相談できるノート

スタッフ後記

暖かくなってきたと思えばまだ寒い日もあり、三寒四温の気候ですが、町を歩いていると花の香りが漂ってきたり桜の蕾も膨らみ、毎年この時季が訪れるとうれしい気持ちになります。今月号までこの紙面を担当させていただきましたが、次月号からは新しい担当者になります。「島根で頑張る人」等で取材させていただいた団体の皆様をはじめ、関係者の皆様ありがとうございました。(T)

お知らせ 「しまねいきいきねっと」リニューアル!

機関紙「しまねいきいきねっと」は次号から一部リニューアル予定です。ロゴや紙面の構成が新しくなる他、1年間連載してきた「NPO虎の巻」も新コーナーになります。読んで楽しいお役立ち情報を皆さまにお届けしていきますので、これからも引き続きよろしくお願いたします。
*「こんな記事が読みたい!」等のご意見・ご感想お待ちしております!

- 県内NPO法人数 277 【H28. 2. 29現在】
(内 認定NPO法人数 6、仮認定NPO法人数 1)
- 新設NPO法人数 1 ■解散NPO法人数 2 (H28.2月分)
- しまね社会貢献基金登録団体数 48
- だんだん認証レベル取得団体数 42 (内 レベル2 28)

松江
事務局

〒690-0003
松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
TEL (0852)28-0690 FAX (0852) 28-0692
E-mail: shimane@teiju.or.jp

〒697-0034
浜田市相生町 1391-8 シティパルク浜田 2階
石見産業支援センター「いわみびらっと」内
TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630
E-mail: iwami@teiju.or.jp

石見
事務所